

キンセンカ



■キンセンカのプロフィール

学名： *Calendula*

科名：キク科

分類：一年草

原産地：南ヨーロッパ

南ヨーロッパにおよそ 15 種類が分布する草花です。秋にタネをまいて翌春に花を楽しむ秋まき一年草として扱います。

和名「キンセンカ」は、中国名の「金盞花」を日本語読みしたもので「盞」には盃の意味があります。花の色と形を「金の盃」に見立てたことに由来します。

カレンデュラとはラテン語のカレンダエ(カレンダーの語源)に由来します。どの月の初めにも咲いているほど花期が長いということから名づけられたのではないかとされています。

■キンセンカの育て方

●タネまき

9月上旬～10月下旬、ポットに種を3粒ずつ蒔きます。土はタネまき用土か、普通の園芸用培養土を用います。

発芽適温は15～20℃です。5～6日ほどで発芽するので、それまでは土を乾燥させないように注意します。発芽したら、しっかりした苗を1本残して、間引きします。本葉が7～8枚になったら、花壇やプランターに定植します。早めのタネまきで12月～2月から咲き始めます。



●育て方のポイント

日当たりと水はけのよいところであれば育てやすく、ほとんど放任でも長い間咲き続けます。場所や品種によっては、こぼれ種で毎年育つほどで、ワイルドフラワーとして利用されることもあります。

上記写真の「フユシラズ(冬知らず)」はキンセンカの仲間で、その名の通り寒さにとても強く、こぼれ種でよく増えます。

また、定植後に先端を摘む(摘芯)と、枝が増えて株が大きくなり、花もたくさん咲きます。

